

## 教 育 費

教育費の支出済額は、4,834,376,722円で、対前年度比377,829,887円、7.25パーセントの減で、歳出総額に対する構成比は8.99パーセントです。

教 10  
育  
費 款

# 10款 1項 1目 教育委員会費

## 教育委員会運営事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 251 ページ

予算現額	4,199,000 円		決算額	3,834,401 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	364,599 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			3,824,500 円	地方債	
	増減額			9,901 円	その他	
	増減率	0.26%	一般財源	3,834,401 円		

### <目的>

狭山市の教育行政の根幹となる教育委員会を円滑に運営します。

### <内容>

教育委員の委員報酬・教育委員研修会等に対する費用弁償のほか、入間地区教育委員会連合会等の負担金を支出します。

### <実績・成果等>

#### 1 定例会開催状況

区分	会期	付議議案
令和3年 第4回	4月23日	狭山市社会教育委員の委嘱について ほか10件
第5回	5月25日	令和3年度狭山市一般会計補正予算(第2号)－教育費 ほか2件
第6回	6月25日	狭山市青少年問題協議会委員の委嘱について ほか7件
第7回	7月27日	狭山市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則
第8回	8月20日	令和3年度狭山市一般会計補正予算(第5号)－教育費 ほか3件
第9回	9月28日	令和4年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和4年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について ほか1件
第10回	10月22日	狭山市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則 ほか2件
第11回	11月22日	狭山市立武道館条例の一部を改正する条例 ほか2件
第12回	12月21日	付議議案無し
令和4年 第1回	1月25日	付議議案無し
第2回	2月17日	狭山市立武道館管理規則の一部を改正する規則 ほか4件
第3回	3月25日	狭山市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ほか5件

#### 2 総合教育会議開催状況

区分	会期	協議事項
令和3年 第1回	7月27日	第3次狭山市教育振興基本計画(素案)について

# 10款 1項 2目 事務局費

## 奨学金貸与事業

(学務課)

決算事項別明細書 253 ページ

予算現額	13,084,000 円		決算額	4,187,158 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	8,896,842 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			6,872,080 円	地 方 債	
	増減額			△2,684,922 円	そ の 他	4,187,158 円
	増減率		△39.07%	一 般 財 源		

### <目的>

能力があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な方へ奨学金を貸与することにより、修学の機会を確保します。

### <内容>

経済的理由により大学などへの修学が困難な方に対して、入学一時金及び学資金を貸与します。

### <実績・成果等>

奨学金の貸与を受けた者の数

高 校 生	高等専門学校生	専 修 学 校 生	大 学 生	合 計
5 人 (0 人)	0 人 (0 人)	1 人 (0 人)	12 人 (1 人)	18 人 (1 人)

※( )内は本年度新規に貸与を受けた者の数

※制度創設以来の延べ人数は、高校生 162 人、専修学校生 87 人、大学生 440 人、高等専門学校生 2 人の合計 691 人となります。

# 10款 1項 3目 教育指導費

## 介助員（特別支援教育）配置事業

（教育指導課）

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	60,281,000 円		決算額	57,206,865 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	3,074,135 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	53,087,462 円		地方債	
	増減額	4,119,403 円		その他	
	増減率	7.76%	一般財源	57,206,865 円	

### <目的>

教育上特別の支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応えるため、一人一人の障害の状態に応じた教育内容や教育方法の充実を図ります。

### <内容>

介助員を配置して、障害のある児童生徒の介助を行うとともに、一人一人の障害に応じて効果的な学習活動上の介助を行います。

### <実績・成果等>

#### 1 本年度 介助員配置状況

区分	対象学校	配置人数（延べ）	平均勤務日数
小学校	14 校	24 人	205.92 日
中学校	5	8	200.88

#### 2 介助の内訳

- (1) 通常の教育活動・学習活動における介助と支援
- (2) 校外学習、社会科見学、遠足等の学校外での教育活動における介助
- (3) 宿泊学習や修学旅行の引率に伴う介助（学校からの要請に応じて、必要と認める場合）
- (4) 第2土曜日における介助

#### 3 成果

- (1) 介助員は、担当する児童生徒との関わりを通じて徐々に人間関係を築き、一人一人の障害の状況を深く理解しながらきめ細かい介助を行っています。また、学級担任と児童生徒をつなぐ役割も担い、高い教育効果を上げています。
- (2) 介助員は、学級担任との連携を図りながら、基本的な生活習慣の確立のための生活上の介助、学習活動や教室移動に対する介助、児童生徒の健康・安全の確保、学校行事への参加に関する介助など、その活動は学校生活全般にわたり、児童生徒の心身に配慮した、安定した学級運営に寄与することができています。

# 10款 1項 3目 教育指導費

## 教育指導支援事業

(教育指導課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	74,975,000 円		決算額	65,133,181 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	7,791,670 円
不用額	9,841,819 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	89,126,844 円	一般財源	地方債	
	増減額	△23,993,663 円		その他	1,216,300 円
	増減率	△26.92%			56,125,211 円

### <目的>

教育内容を充実し、きめ細やかな教育を推進することにより、創造性に富み、心豊かな生きる力を持った児童生徒の育成を図ります。

### <内容>

小中学校にわくわく支援員やアシスタントティーチャー、学校図書館司書、スクール・サポート・スタッフなどを配置し、きめ細やかな教育活動を推進します。また、小中学校からの要請に応じて、教育センターに配置した非常勤講師を派遣し、教育活動の支援をします。本年度も、新型コロナウイルス禍の中、児童・生徒の学びの保障のため、臨時的に増員して職員の任用を行っています。

### <実績・成果等>

- わくわく支援員・アシスタントティーチャー  
わくわく支援員（延べ15人）は、小学校での様々なふれあい活動や個別支援をとおして、不登校や学級崩壊の予防、生徒指導の充実等に成果を上げています。  
アシスタントティーチャー（延べ8人）は、中学校でのチームティーチングによる授業や教員の指導を補助し、個別支援の充実に寄与しています。
- 派遣非常勤講師  
派遣非常勤講師（延べ9人）を、教育センターに配置し、教員が出張等で不在の場合に、校長からの要請に応じて各学校に派遣し、教育活動の支援を行っています。
- 発達障害・情緒障害通級指導教室指導員  
発達障害・情緒障害通級指導教室指導員（3人）、発達障害・情緒障害通級指導教室指導員指導者（1人）を、広瀬小学校と狭山台小学校と中央中学校に配置し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に応じた指導や支援、教員を補佐し、教育内容を充実させ成果を上げています。
- 小中学校代替教諭  
小中学校代替教諭（延べ32人）は、病休等による教員の不在時に、欠員補充のため小中学校に派遣し、計画的に学校教育を進めています。
- 学校図書館司書  
学校図書館司書（8人）を、全中学校に配置し、拠点校以外の担当小学校も定期的に訪問し、学校図書館担当教諭や図書ボランティアに指導助言をして、学校図書館運営の充実に寄与しています。
- スクール・サポート・スタッフ  
スクール・サポート・スタッフ（延べ16人）を、小中学校23校に配置し、教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教師の負担軽減を図るため、学習プリントの印刷等や新型コロナウイルス感染症対策のための消毒作業などを行い、教職員の児童生徒に向き合う時間の確保に寄与しています。
- 狭山市教育委員会の附属機関として設置した「狭山市いじめ問題審議・調査委員会」の会議を開催し、いじめの防止等のための対策を実効的に行っています。

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 学力向上推進事業

(教育センター)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	12,208,000 円		決算額	12,136,740 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	3,300,000 円
不 用 額	71,260 円			県支出金	
前年度 比 較	決算額	8,776,348 円	一般財源	地方債	
	増減額	3,360,392 円		その他	5,000,000 円
	増減率	38.29%			3,836,740 円

### <目的>

学校の授業以外で学習できる機会を設け、小中学生の学校の学習指導を補完するとともに家庭学習を習慣化し、学力向上を目指します。

### <内容>

- 1 学校の授業以外で学習できる機会を設け、中学生の学力の定着と家庭学習の習慣化を目指して「さやまっ子・茶レンジスクール」を実施します。冬季休業中に、市内の中学校区ごとに指定された会場で、外部講師による集中講義を実施します。
- 2 学校の授業以外で学習できる機会を設け、小学生の学力の定着を図るために児童の学習を支援し、学習の仕方を身につけさせる「さやまっ子・茶レンジスクール」を実施します。市内全小学校で、平日、学力の差が出始める小学4年生の算数の集中講座を外部講師が行います。

### <実績・成果等>

- 1 中学生対象「さやまっ子・茶レンジスクール」
  - (1) 市内中学生（8中学校）の登録率 17.1パーセント（令和2年度9.1パーセント）
  - (2) 集中講義開催日数 夏冬季 延べ72日（令和2年度 延べ24日）
  - (3) 集中講義参加人数 夏冬季 延べ2,557人（令和2年度 延べ667人）
  - (4) 事業に対する満足度 79パーセント
- 2 小学4年生対象「さやまっ子・茶レンジスクール」
  - (1) 市内小学生（15小学校）の登録者数 157人（令和2年度247人）
  - (2) 開催日数 延べ300回（令和2年度延べ270回）
  - (3) 参加人数 延べ2,751人（令和2年度延べ4,054人）
  - (4) 事業に対する満足度 77パーセント

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 国際理解教育推進事業

(教育センター)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	69,744,000 円		決算額	65,470,264 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	4,273,736 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			62,437,849 円	地方債	
	増減額			3,032,415 円	その他	
	増減率	4.86%	一般財源	65,470,264 円		

### <目的>

早くから外国語や外国の文化に慣れ親しめる環境をすることにより、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、様々な連携を図る教育活動を通じて、小学校の英語科・英語活動から中学校の英語教育への円滑な接続を実現し、中一ギャップの解消につなげます。

帰国・外国人児童生徒への支援を充実します。

### <内容>

各小中学校へ英語活動支援員や語学指導助手を配置するとともに、各中学校区において、小中連携教育を推進し、小学校から中学校への円滑な接続を図ります。日本語指導員を学校に派遣し、帰国・外国人児童生徒の学習を支援します。

新学習指導要領の小学校における全面実施への対応として、小学校専任語学指導助手を増員し、外国語早期教育を推進します。

### <実績・成果等>

#### 1 英語活動支援員

小学校での英語活動の充実を図りました。

- (1) 英語活動支援員（15人）を配置し、各担当小学校で担任とのチームティーチングを実施し、外国語早期教育の充実を図っています。

※ 英語に興味関心の高い児童の割合 86.4パーセント

- (2) 英語活動支援員が、学級担任や英語専科教諭、語学指導助手と連携することで、より効果的な英語活動の授業の展開を図るとともに国際理解教育の充実を図っています。

#### 2 語学指導助手

小中学校での英語教育及び国際理解教育の充実を図りました。

- (1) 令和3年度 英語検定3級相当以上の英語力を有する生徒の割合 53.8パーセント  
(参考：国 44.0パーセント 県 45.8パーセント 令和元年度データ)

- (2) 語学指導助手（12人）を配置し、小学校では学級担任や英語専科教諭と、中学校では英語科教諭とのチームティーチングを実施し、外国語教育の充実を図っています。

※ 英語に興味関心の高い生徒の割合 65.7パーセント

※ 小学校での指導 年間1クラス平均 13.1時間

※ 中学校での指導 年間1クラス平均 33.3時間

- (3) 語学指導助手は、幼稚園を訪問して、外国語や外国文化に早期から慣れ親しむ教育活動を充実させています。

※ 幼稚園への訪問 年間1クラス平均 5.7時間

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 教育相談事業

(教育センター)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	38,153,000 円		決算額	35,656,098 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,496,902 円			県 支 出 金	5,226,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			36,154,762 円	地 方 債	
	増減額			△498,664 円	そ の 他	152,900 円
	増減率	△1.38%	一 般 財 源	30,277,198 円		

### <目的>

教育相談活動を行うことにより、いじめ、不登校、非行、問題行動、発達障害等の未然防止や早期対応を図ります。

### <内容>

教育センターに相談員を配置し、学校等と連絡をとりながら児童生徒や保護者、教職員からの相談に対応します。また、適応指導教室「けやき」を開設し、不登校児童生徒の社会復帰に向けた支援を行います。学校課題解決支援員を設置し、情報収集や関係機関と連携し、学校課題等に取り組みます。就学支援委員・教育相談員（就学相談等兼務）は、就学相談における各種知能検査を行い、結果報告書の作成、保護者への報告等専門的分野での対応を行います。

各中学校にさやまっ子相談員、さやまっ子相談支援員、スクールカウンセラーを配置して、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応します。

### <実績・成果等>

#### 電話相談内容別件数

い じ め	4 件
不 登 校	552
友 人 関 係	0
性 格 ・ 行 動	61
学 業 ・ 進 路	14
非 行	6
虐 待	1
学校との関係	6
家庭生活・子育て	11
そ の 他	2
合 計	657

#### 面接相談内容別件数

い じ め	0 件
不 登 校	968
友 人 関 係	0
性 格 ・ 行 動	54
学 業 ・ 進 路	23
非 行	0
虐 待	0
学校との関係	0
家庭生活・子育て	1
そ の 他	0
合 計	1,046

適応指導教室通級児童生徒数 22 人



# 10款 2項 1目 学校管理費

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額	26,003,000 円		決算額	25,443,507 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	25,443,507 円	
不 用 額	559,493 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			257,350,542 円	地 方 債	
	増減額			△231,907,035 円	そ の 他	
	増減率	△90.11%	一 般 財 源			

### <目的>

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、小学校の円滑な運営を図ります。

### <内容>

小学校における新型コロナウイルス感染症対策のための整備等を行います。

### <実績・成果等>

- 1 小学校の感染症対策を講じるとともに、児童の学びを保障するための取組に必要な物品を購入しました。
  - ・消耗品費（アルコール消毒液、石鹸、加湿器、ワイヤレスアンプ、マイク等） 16,001,217 円
- 2 GIGA スクール構想に基づく児童1人1台の情報端末を家庭に持ち帰った際にも充電できるよう AC アダプターを購入しました。
  - ・家庭用 AC アダプターの購入（小学校3年生から6年生分）4,402 本 9,442,290 円

# 10款 2項 1目 学校管理費

## 小学校教育用コンピュータ機器整備事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額	143,729,000 円		決算額	143,246,288 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	49,838,556 円	
不 用 額	482,712 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			89,880,814 円	地 方 債	
	増減額			53,365,474 円	そ の 他	
	増減率	59.37%	一 般 財 源	93,407,732 円		

### <目的>

ICT活用力の育成のため環境を整備します。

### <内容>

児童がコンピュータなどのICT機器を活用した学習ができる環境を整備します。

### <実績・成果等>

- GIGA スクール構想に基づき、児童1人1台の情報端末を配備し、授業等に活用しました。
  - 児童学習用端末等借上料 (4,447 台) 47,362,236 円
  - 小学校インターネット回線使用料 1,021,350 円
  - 校内ネットワーク維持管理業務委託料 3,168,000 円
  - オンライン学習支援サービスソフト使用料 5,173,080 円
  - インターネット環境のない家庭への貸出用ルーターの購入 (268 台) 2,476,320 円
- 教育用・校務用コンピュータ機器等を継続的、安定的に活用できるように、ICT環境の整備を図りました。
  - 教育用コンピュータ機器等借上料 51,313,176 円
  - 校務用コンピュータ機器等借上料 30,642,555 円
  - 周辺機器等借上料 678,818 円

# 10款 2項 2目 教育振興費

## 小学校就学援助事業

(学務課)

決算事項別明細書 265 ページ

予算現額	60,983,000 円		決算額	60,973,672 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	1,338,000 円	
不 用 額	9,328 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			64,505,812 円	地 方 債	
	増減額			△3,532,140 円	そ の 他	
	増減率	△5.48%	一 般 財 源	59,635,672 円		

### <目的>

低所得世帯の児童の保護者に対して、経済的負担の軽減を図ります。

### <内容>

経済的な理由で、学用品の購入や給食費の支払などに困窮している小学生の保護者に対して、経済的援助を実施します。

### <実績・成果等>

要保護児童1人、準要保護児童延べ842人に対して、学用品費等を支給しました。

就学援助費 60,971,006 円

(うち特別支援教育就学奨励費 99人 2,923,343円)

# 10款 2項 3目 学童保育室費

## 公立学童保育室管理事業

(青少年課)

決算事項別明細書 265 ページ

予算現額	417,596,000 円		決算額	381,970,396 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	66,884,070 円
不 用 額	35,625,604 円			県 支 出 金	56,749,151 円
前 年 度 比 較	決算額	297,305,851 円		地 方 債	
	増減額	84,664,545 円		そ の 他	92,922,610 円
	増減率	28.48%	一 般 財 源	165,414,565 円	

### <目的>

保護者の就労等により家庭において保育に欠ける児童の健全な育成を図ります。

### <内容>

公立学童保育室の管理・運営を行い、放課後等における児童の遊びや生活の場を提供します。

### <実績・成果等>

区 分	入間川小	入間川東 小第一	入間川東 小第二	富士見小 第 一	富士見小 第 二	南 小 第 一	南 小 第 二	山王小	入間野小 第 一	入間野小 第 二	御狩場小	
入 室 者 数	年間延べ 人数	699 人	424 人	463 人	557 人	326 人	549 人	329 人	870 人	564 人	594 人	566 人
	月平均	58	35	39	46	27	46	27	73	47	50	47

区 分	堀兼小	狭山台小 第 一	狭山台小 第 二	新狭山小 第 一	新狭山小 第 二	奥富	柏原小 第 一	柏原小 第 二	水富小 第 一	水富小 第 二	広瀬小	
入 室 者 数	年間延べ 人数	484 人	416 人	415 人	429 人	565 人	671 人	594 人	447 人	332 人	353 人	469 人
	月平均	40	35	35	36	47	56	50	37	28	29	39

区 分	笹井小	入間川東 小・富士 見小分室	広瀬小 分室	合 計	
入 室 者 数	年間延べ 人数	334 人	400 人	189 人	12,039 人
	月平均	28	33	16	1,004

# 10款 2項 3目 学童保育室費

## 学童保育室改修整備事業

(青少年課)

決算事項別明細書 267 ページ

予算現額	4,062,000 円		決算額	3,850,000 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	212,000 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			24,467,843 円	地 方 債	
	増減額			△20,617,843 円	そ の 他	
	増減率	△84.27%	一 般 財 源	3,850,000 円		

### <目的>

待機児童の解消をします。

### <内容>

入室児童数の増大などに対応するため、学童保育室を整備拡充します。

### <実績・成果等>

入間野小学童保育室増築工事設計業務委託 3,850,000 円

# 10款 2項 4目 学校施設整備費

## 小学校校舎等改修事業

(教育施設管理課)

決算事項別明細書 267 ページ

予算現額	90,306,000 円		決算額	81,355,615 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	8,950,385 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	527,647,619 円		決算額の 財源内訳	地 方 債	60,200,000 円
	増減額	△446,292,004 円			そ の 他	
	増減率	△84.58%	一 般 財 源		21,155,615 円	

### <目的>

経年劣化した建物を更新し、建物寿命を延ばすことにより安全安心な教育環境の確保を図ります。

### <内容>

老朽化した校舎等の建物維持や改造及び、給排水・電気などの更新を行う改修設計及び工事を計画的に行います。

### <実績・成果等>

職員トイレの改修として、次の工事を実施しました。

1	山王小学校職員トイレ改修工事	13,103,354 円
2	水富小学校職員トイレ改修工事	11,808,720 円
3	奥富小学校職員トイレ改修工事	10,935,023 円
4	笹井小学校職員トイレ改修工事	11,621,280 円
5	柏原小学校職員トイレ改修工事	14,067,592 円
6	狭山台小学校職員トイレ改修工事	19,819,646 円

# 10款 3項 1目 学校管理費

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 271 ページ

予算現額	16,238,000 円		決算額	15,768,641 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	15,768,641 円	
不 用 額	469,359 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			133,548,601 円	地 方 債	
	増減額			△117,779,960 円	そ の 他	
	増減率	△88.19%	一 般 財 源			

### <目的>

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、中学校の円滑な運営を図ります。

### <内容>

中学校における新型コロナウイルス感染症対策のための整備等を行います。

### <実績・成果等>

- 1 中学校の感染症対策を講じるとともに、生徒の学びを保障するための取組に必要な物品を購入しました。
  - ・消耗品費（アルコール消毒液、サーキュレーター、ワイヤレスアンプ、マイク等） 8,531,411 円
- 2 GIGA スクール構想に基づく生徒 1 人 1 台の情報端末を家庭に持ち帰った際にも充電できるよう AC アダプターを購入しました。
  - ・家庭用 AC アダプターの購入（全生徒分） 3,374 本 7,237,230 円

# 10款 3項 1目 学校管理費

## 中学校教育用コンピュータ機器整備事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 271 ページ

予算現額	87,963,000 円		決算額	87,501,028 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	25,172,376 円	
不 用 額	461,972 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			60,439,430 円	地 方 債	
	増減額			27,061,598 円	そ の 他	
	増減率	44.77%	一 般 財 源	62,328,652 円		

### <目的>

ICT活用力の育成のため環境を整備します。

### <内容>

生徒がコンピュータなどのICT機器を活用した学習ができる環境を整備します。

### <実績・成果等>

- GIGA スクール構想に基づき、生徒1人1台の情報端末等を配備し、授業等に活用しました。
  - 生徒学習用端末等借上料 (2,249 台) 23,952,696 円
  - 中学校インターネット回線使用料 544,720 円
  - 校内ネットワーク維持管理業務委託料 1,689,600 円
  - インターネット環境のない家庭への貸出用ルーターの購入 (132 台) 1,219,680 円
- 教育用・校務用コンピュータ機器等を継続的、安定的に活用できるように、ICT 環境の整備を図りました。
  - 教育用コンピュータ機器等借上料 39,193,440 円
  - 校務用コンピュータ機器等借上料 19,326,810 円
  - 周辺機器等借上料 278,832 円



# 10款 3項 2目 教育振興費

## 中学校就学援助事業

(学務課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	70,439,000 円		決算額	65,010,217 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	960,000 円	
不 用 額	5,428,783 円			県 支 出 金	240,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			64,755,853 円	地 方 債	
	増減額			254,364 円	そ の 他	
	増減率	0.39%	一 般 財 源	63,810,217 円		

### <目的>

低所得世帯の生徒の保護者に対して、経済的負担の軽減を図ります。

### <内容>

経済的な理由で、学用品の購入や給食費の支払などに困窮している中学生の保護者に対して、経済的援助を実施します。

### <実績・成果等>

要保護生徒 1 人、準要保護生徒延べ 558 人に対して、学用品費等を支給しました。

就学援助費		65,005,377 円
(うち東日本大震災被災生徒就学援助費	2 人	241,280 円)
(うち特別支援教育就学奨励費	52 人	2,460,378 円)

# 10款 3項 3目 学校施設整備費

## 中学校校舎等改修事業

(教育施設管理課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	512,121,000 円		決算額	223,559,160 円		
翌年度繰越額	262,581,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	52,272,000 円	
不用額	25,980,840 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			159,313,645 円	地方債	139,300,000 円
	増減額			64,245,515 円	その他	
	増減率	40.33%	一般財源	31,987,160 円		

### <目的>

経年劣化した建物を更新し、建物寿命を延ばすことにより安全安心な教育環境の確保を図ります。

### <内容>

老朽化した校舎等の建物維持や改造及び、給排水・電気などの更新を行う改修設計及び工事を計画的に行います。

### <実績・成果等>

1 令和4年度の生徒用トイレ改修工事に向けて、次の設計業務委託を実施しました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 入間野中学校トイレ改修工事設計委託 | 1,512,500 円 |
| (2) 柏原中学校トイレ改修工事設計委託  | 1,567,500 円 |
| (3) 狭山台中学校トイレ改修工事設計委託 | 1,567,500 円 |
| (4) 山王中学校トイレ改修工事設計委託  | 1,512,500 円 |

2 職員トイレの改修として、次の設計業務委託及び工事を実施しました。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| (1) 西中学校職員トイレ改修工事設計委託  | 806,666 円    |
| (2) 堀兼中学校職員トイレ改修工事設計委託 | 806,667 円    |
| (3) 中央中学校職員トイレ改修工事設計委託 | 806,667 円    |
| (4) 西中学校職員トイレ改修工事      | 10,593,678 円 |
| (5) 堀兼中学校職員トイレ改修工事     | 9,534,310 円  |
| (6) 中央中学校職員トイレ改修工事     | 15,061,012 円 |

3 生徒用トイレ1系統の改修として、次の工事を実施しました。

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| (1) 西中学校トイレ改修工事   | 37,178,029 円 |
| (2) 堀兼中学校トイレ改修工事  | 45,289,197 円 |
| (3) 入間川中学校トイレ改修工事 | 45,304,261 円 |
| (4) 中央中学校トイレ改修工事  | 52,018,673 円 |

# 10款 4項 1目 幼稚園費

## 私立幼稚園支援事業

(保育幼稚園課)

決算事項別明細書 277 ページ

予算現額	5,931,000 円		決算額	5,881,230 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不用額	49,770 円			県支出金		
前年度 比較	決算額	5,536,060 円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	345,170 円			その他	
	増減率	6.23%	一般財源		5,881,230 円	

### <目的>

市内の私立幼稚園の園児の心身の健全な発達を支援します。

### <内容>

市内の私立幼稚園に対して、教育条件の維持及び向上を図ること、幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金を支給します。

また、特別支援の充実と振興を図るため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園に対して、補助金を支給します。

### <実績・成果等>

#### 1 私立幼稚園振興助成金

目的：私立幼稚園等の教育条件の維持及び向上を図るための助成金

対象施設 9 園

対象園児数 計 1,201 人

助成対象経費（抜粋） 園医・薬剤師手当、教職員研修費、遊具等の購入・修繕の一部

#### 2 幼稚園児育成事業費補助金

目的：幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金

市内幼稚園 9 カ所において、観劇会を実施

#### 3 私立幼稚園特別支援教育費補助金

目的：心身に障害等のある幼児の私立幼稚園等への就園を促進するため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園への補助金

対象施設 7 園

対象園児数 計 24 人

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 社会教育振興事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 277 ページ

予算現額	4,780,000 円		決算額	3,834,936 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	945,064 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			3,624,122 円	地方債	
	増減額			210,814 円	その他	
	増減率	5.82%	一般財源	3,834,936 円		

### <目的>

社会の要請や地域住民のニーズに対して、学習の機会や場を提供し、社会教育の充実を図ります。

### <内容>

社会教育の振興を図るため、学習機会の提供とともに、社会教育事業を主体的に行う関係団体を支援し、社会教育活動の促進を図ります。

### <実績・成果等>

#### 1 ジュニアリーダー養成事業の開催

狭山市子ども会育成会連絡協議会との共催により、レクリエーションの指導技術等の講習会を開催しました。

事業名	期間	回数	会場
狭山市ジュニアリーダー 初級講習会	令和3年5月30日～ 令和4年2月21日	7回	入曽地域交流センター、 入間川小学校ほか

#### 2 平和推進事業の開催

市民に広く平和について考える機会を提供し、平和に関する意識の高揚を図るため、入曽地域交流センターを会場に平和祈念講演会を開催しました。

内容	期日	参加人数
平和祈念講演会 講演：「戦争体験から学ぶ平和と命の大切さ」 語り部：杉本 孝一郎 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人数を制限して開催	令和3年12月11日	21人

#### 3 現代的課題等の講座の開催

地域活動につながる人材育成を視点において、現代的課題である環境問題をテーマに、公民館や関係団体等と連携して「環境にやさしいライフスタイル講座」を実施しました。当講座は6回開催し、延べ108人の参加がありました。

#### 4 子ども大学の開催

小学校4年生から6年生を対象として、子供の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学さやま・いるま」及び「子ども大学さやま」を開校しました。「子ども大学さやま・いるま」は、東京家政大学及び入間市教育委員会との共催により、11月6日から11月27日までの間の3日間(4講座)開催し、狭山市から15人、入間市から15人の合計30人が受講しました。また、「子ども大学さやま」は、武蔵野学院大学、武蔵野短期大学及び飯能信用金庫との共催により、11月27日から12月18日までの間の3日間(3講座)開催し、29人が受講しました。

5 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市 PTA 連合会	171,335 円
狭山市子ども会育成会連絡協議会	67,802 円
狭山市地域文庫連絡会	31,171 円
狭山市ボーイスカウト・ガールスカウト連合会	167,000 円

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 成人式開催事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	1,114,000 円		決算額	943,032 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	170,968 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			315,578 円	地 方 債	
	増減額			627,454 円	そ の 他	
	増減率	198.83%	一 般 財 源	943,032 円		

### <目的>

成人に達した青年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

### <内容>

成人式を挙げて、青年男女の新しい門出を祝福し、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

### <実績・成果等>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、前年度から開催を延期していた第 67 回狭山市成人式及び第 68 回狭山市成人式を狭山市市民会館で開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検温や手指消毒といった基本的な感染症対策を施すとともに、中学校区を基本とした 3 部制で式典を開催し、その様子を動画配信しました。

#### 第 67 回狭山市成人式 (令和 3 年 11 月 23 日開催)

該当者数	出席者数	出席率
1,473 人	877 人	59.54%

#### 第 68 回狭山市成人式 (令和 4 年 1 月 9 日開催)

該当者数	出席者数	出席率
1,449 人	1,011 人	69.77%

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 生涯学習推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	5,677,000 円		決算額	4,468,805 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	1,208,195 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	2,986,332 円	決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	1,482,473 円		その他	55,500 円
	増減率	49.64%		一般財源	4,413,305 円

### <目的>

誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。

### <内容>

生涯学習に取り組む個人や団体の活動の促進や、生涯学習の成果を発表する機会や場の充実を図ります。また、生涯学習の充実に向けて、ICT 等各種の情報媒体を活用しながら、情報提供の充実を図ります。

### <実績・成果等>

- 生涯学習ボランティア制度の充実  
さまざまな経験や知識・技能を持ち社会参加に意欲のある人材を募集して、学習指導者として登録し、市民の学習の場での活用を通じて市民の学習活動の促進を図りました。本年度の登録件数（指導分野）は144件、登録者は117人となりました。
- 生涯学習まちづくり出前講座の推進  
職員が地域に出向き、市の業務内容や取組みをわかりやすく説明する「生涯学習まちづくり出前講座」を開催しました。出前講座のメニュー講座とリクエスト講座を合わせて、207件、21,552人が受講しました。
- 生涯学習の場としての学校施設の開放  
市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の促進を図るため、入間川小学校の施設の一部（特別教室及び講堂）を開放しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開放を中止した期間がありましたが、延べ389団体、7,852人の利用がありました。
- 生涯学習情報コーナーの運営  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束が見通せないなかで、利用者数の減少が見込まれたことから、これまでの実績を活かした生涯学習活動の支援方策を検討する期間として、生涯学習情報コーナーを1年間休止しました。
- 地域ポータルサイトにおける生涯学習関連情報の提供  
地域ポータルサイト「さやマルシェ」内の『さやまなびいネット』にて、市内公民館や小・中学校開放体育館等で活動しているサークル情報などを提供し、月平均10,791件のアクセスがありました。
- 市民文化祭の開催  
各公民館、入曽地域交流センター、富士見集会所、中央図書館、市民会館の14会場において、230団体が活動成果を発表し、7,455人が来場しました。  
市民文化祭補助金（14会場） 461,125 円

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 家庭教育支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	728,000 円		決算額	203,217 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	524,783 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			20,000 円	地 方 債	
	増減額			183,217 円	そ の 他	
	増減率	916.09%	一 般 財 源	203,217 円		

### <目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、学習機会の提供などを通して、家庭教育を支援します。

### <内容>

PTA と連携して、家庭教育研修会や家庭教育学級の内容の充実を図り、家庭の教育力の向上に向けた支援を行います。

### <実績・成果等>

#### 1 家庭教育リモート研修の実施

家庭教育合同研修会を狭山市 PTA 連合会との共催により、3 回実施しました。

期 日	方 法	内 容
令和3年10月28日～ 令和3年11月4日	YouTube を用いた 限定配信	講演会 思春期の子どもたちへの向き合い方 ～子どもが信頼する大人とは～
令和3年10月16日	ZOOM による映像配信	講演会 これから求められる『学力』どう育てるか
令和3年11月11日～ 令和3年11月18日	YouTube を用いた 限定配信	講演会 子供のやる気を引き出す子育て ～不登校・ひきこもりの訪問相談の現場から～

#### 2 家庭教育学級の実施

家庭教育学級の開設と運営を幼稚園保護者会と小中学校 PTA に委託し、実施しました。

幼稚園幼児期家庭教育学級	4 学級	30,000 円
小学校 PTA 家庭教育学級	13 学級	101,281 円
中学校 PTA 家庭教育学級	2 学級	6,936 円

#### 3 すこやか子育て講座の実施

令和4年4月に入学する児童の保護者を対象に、就学時健康診断や入学説明会の機会を捉え、市立小学校1校において家庭教育や子育てに関する講座を実施しました。



# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 人権施策推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	1,025,000 円		決算額	581,711 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	443,289 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			389,510 円	地 方 債	
	増減額			192,201 円	そ の 他	
	増減率	49.34%	一 般 財 源	581,711 円		

### <目的>

同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

### <内容>

同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

### <実績・成果等>

#### 1 人権教育研修会等の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年よりも研修会の開催回数を減らして、学校教育関係者や社会教育関係者などで構成される狭山市人権教育推進協議会との共催により、人権教育研修会等を開催しました。

事業名 (会場)	期 日	内 容	参加者数 (視聴回数)
第1回人権教育研修会 (市民会館)	令和3年11月11日	講演会「青少年赤十字活動と人権」	125人
第2回人権教育研修会 (市民会館)	令和3年12月16日	講演会「市民及び教員意識調査結果の特徴と課題」	123人
企業人権教育研修会	令和3年12月20日～ 令和4年1月28日	講演会 (動画配信形式) 「インターネットと人権 ～守ろう人権 守ろう職場～」	58回
人権教育実践研究会	令和4年3月16日～ 令和4年3月31日	実践発表 (動画配信形式) ・「小学校における人権教育」 山王小学校 ・「中学校における人権教育」 中央中学校 ・「公民館における人権教育」 入曽公民館	41回

#### 2 小中学校 PTA 人権教育学級の開催

市内13校の小中学校PTAに委託し、人権教育学級を開催しました。

小学校 PTA 人権教育学級 10学級 76,399 円  
中学校 PTA 人権教育学級 3学級 10,000 円

# 10款 5項 2目 文化財保護費

## 文化財保護事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	22,375,000円		決算額	19,615,769円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,759,231円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,987,093円	地 方 債	
	増減額			17,628,676円	そ の 他	1,455,416円
	増減率	887.16%	一 般 財 源	18,160,353円		

### <目的>

郷土の歴史や文化を理解し、文化財愛護意識の高揚を図ります。

### <内容>

貴重な文化財を後世に残すため、指定文化財の所有者や民俗芸能の保持者などを支援するとともに、民俗芸能の保存・継承に取り組む民俗芸能等の団体の活動を支援します。

### <実績・成果等>

1 指定文化財等の管理業務を次のとおり実施しました。

事業名	実施内容
県指定史跡七曲井除草管理業務ほか8事業	除草、樹木剪定等

2 指定文化財等の管理事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復事業	100,000円	土壌改良及び施肥
堀兼神社隨身門修理工事	8,792,000	銅板葺き直し、軒構造の補強等

3 民俗芸能等の団体の後継者育成事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
狭山市民俗芸能祭囃子後継者育成事業	14,306円	囃子練習・上演
柏原祇園囃子後継者育成事業	30,000	子供会員を対象に練習

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4団体が後継者育成事業を中止しました。

4 普及啓発事業を次のとおり実施しました。

事業名	開催回数	参加人数
出前講座	5回	175人
文化財防火デー啓発事業	1	8

※このほか、文化財展（年4回）、市民提案型協働事業関連展示（年1回）を実施しました。

# 10款 5項 2目 文化財保護費

## 文化財発掘調査事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	26,930,000 円		決算額	21,330,672 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	860,000 円	
不 用 額	5,599,328 円			県 支 出 金	430,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			28,231,478 円	地 方 債	
	増減額			△6,900,806 円	そ の 他	19,102,102 円
	増減率	△24.44%	一 般 財 源	938,570 円		

### <目的>

開発等に際して、埋蔵文化財の確認調査を実施するとともに、発掘調査した埋蔵文化財を記録保存し、あわせて、公開することにより、埋蔵文化財を後世に伝えていきます。

### <内容>

埋蔵文化財包蔵地における開発等に際して、事前に遺構確認調査を実施し、遺構が確認され、現状が保存できない場合には発掘調査を行い、その結果を記録保存するとともに、発掘した埋蔵文化財の展示等を通じ、市民への公開を進めます。

### <実績・成果等>

#### 1 各種開発行為に先立つ埋蔵文化財の調査

埋蔵文化財包蔵地内における確認調査（工事立会いを含む）を44件（対象総面積31,201.11平方メートル）実施しました。また、埋蔵文化財発掘調査を1件実施しました。

埋蔵文化財発掘調査名	調 査 結 果
分譲住宅に係る開発行為予定地内埋蔵文化財（峰遺跡）発掘調査	奈良・平安時代竪穴建物2軒、掘立柱建物跡2棟

#### 2 出土品の整理

文化財センター内で出土品の復元、実測等の整理作業を行いました。

#### 3 報告書の刊行

平成30年度から令和2年度に本発掘調査を実施した報告書である「鳥ノ上・小山ノ上・上双木遺跡－狭山工業団地拡張地区基盤整備事業発掘調査報告書－」を刊行しました。

#### 4 埋蔵文化財の公開・活用

埋蔵文化財の発掘調査成果などを使用した展示を行いました。

事業名	場所	期間	内容
発掘調査 速報展	狭山市立 柏原公民館	令和3年6月21日～ 令和3年7月2日	狭山工業団地拡張地区基盤整備事業発掘調査の調査成果のパネル展を実施

# 10款 5項 3目 富士見集会所費

## 富士見集会所管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	9,105,000 円		決算額	8,299,793 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	805,207 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			8,789,243 円	地 方 債	
	増減額			△489,450 円	そ の 他	975,290 円
	増減率	△5.57%	一 般 財 源	7,324,503 円		

### <目的>

施設の管理運営の充実を通して、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。

### <内容>

集会所を住民の集会その他の公共的利用に供する施設として、様々なニーズに応えられるよう施設の管理運営の充実を図ります。併せて、事業参加者・利用者相互の交流にも努めます。

### <実績・成果等>

利用状況 開所日数 293 日

区 分	件 数	人 数
同 和 団 体	16 件	224 人
官 公 署	11	118
公 共 団 体	118	1,167
社会教育関係団体 (免除団体)	5	41
社会教育関係団体 (有料団体)	1,517	13,157
合 計	1,667	14,707

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年8月20日から9月30日まで臨時休所しました。

# 10款 5項 3目 富士見集会所費

## 富士見集会所講座等運営事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 285 ページ

予算現額	1,011,000 円		決算額	365,712 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	645,288 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			150,422 円	地 方 債	
	増減額			215,290 円	そ の 他	
	増減率	143.12%	一 般 財 源	365,712 円		

### <目的>

主催事業等を通して集会所運営の基本理念であるすべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、問題解決に資することができるよう人権教育の充実を図ります。

### <内容>

人権学習の今日的課題である「女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人・その他の人権」についての人権教育の充実を図ります。

### <実績・成果等>

#### 1 主催事業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、主催事業の開催が大幅減となりました。

種 別	内 容	講 座 数	回 数	延べ人数
人権啓発	中学生人権学習	1 講座	1 回	155 人
	教職員人権教育研修会	1	2	52
青 少 年	小・中学生対象の ふれあい教室	2	10	165
学 生	学社融合と人権教育	1	1	5
成人一般	地域ふれあい講座	3	10	94
合 計		8	24	471

#### 2 市民文化祭

市民文化祭の富士見集会所会場として、10月30日から11月2日までの計4日間、作品の展示を行い、9団体が参加し、来場者は延べ301人でした。

# 10款 5項 4目 公民館費

## 公民館管理事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 285 ページ

予算現額	125,631,000 円		決算額	119,772,678 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	5,858,322 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	120,521,718 円		地 方 債	
	増減額	△749,040 円		そ の 他	10,825,650 円
	増減率	△0.62%	一 般 財 源	108,947,028 円	

### <目的>

市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。

### <内容>

生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場の提供と成果を発表する場としての利用に供します。

### <実績・成果等>

利用状況

区 分	官 公 署		公共的団体 (内免除登録団体)		有料団体		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	472	6,583	440 (153)	4,238 (1,144)	5,813	49,664	6,725	60,485
富士見公民館	20	248	146 (117)	3,129 (1,004)	3,850	34,280	4,016	37,657
水野公民館	40	697	79 (0)	881 (0)	2,440	22,852	2,559	24,430
堀兼公民館	64	1,074	126 (0)	1,707 (0)	991	7,264	1,181	10,045
狭山台公民館	14	780	924 (235)	9,529 (2,441)	2,415	18,894	3,353	29,203
新狭山公民館	54	1,031	154 (0)	1,297 (0)	2,759	27,054	2,967	29,382
奥富公民館	48	771	150 (1)	1,345 (10)	999	10,272	1,197	12,388
柏原公民館	31	899	242 (55)	2,137 (389)	1,455	12,498	1,728	15,534
広瀬公民館	38	223	151 (17)	1,100 (230)	2,895	23,153	3,084	24,476
水富公民館	14	250	219 (3)	1,443 (50)	984	11,242	1,217	12,935
合 計	795	12,556	2,631 (581)	26,806 (5,268)	24,601	217,173	28,027	256,535

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年8月20日から9月30日まで臨時休館しました。

# 10款 5項 4目 公民館費

## 公民館講座等運営事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 287ページ

予算現額	4,476,000円		決算額	2,059,616円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	2,416,384円			県支出金	
前年度 比 較	決算額	1,996,878円		地方債	
	増減額	62,738円		その他	
	増減率	3.14%	一般財源	2,059,616円	

### <目的>

市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民学習活動の促進と、社会教育の拡充を図ります。

### <内容>

生涯学習及び社会教育の拠点として、市民のニーズや社会的な要請を踏まえた講座等を開催します。

### <実績・成果等>

講座等の開催状況

公民館名	事業件数	延べ開催回数	延べ参加人数
中央公民館	15 <sup>件</sup>	141 <sup>回</sup>	2,401 <sup>人</sup>
富士見公民館	23	138	1,857
入曽公民館	7	15	2,415
水野公民館	23	114	2,269
堀兼公民館	22	45	1,368
狭山台公民館	15	64	2,077
新狭山公民館	16	125	896
奥富公民館	18	79	2,309
柏原公民館	21	64	2,524
広瀬公民館	16	86	2,573
水富公民館	11	74	1,527
合計	187	945	22,216

※新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した上で、対面型の講座を再開しました。

また、動画配信サービスを利用した講座や、資料を事前に配付する在宅講座なども継続して実施しました。

市民文化祭は、各公民館の利用登録団体の作品展示や、写真や動画での活動紹介を館内や公式ホームページを利用して実施しました。

# 10款 5項 5目 図書館費

## 図書利用推進事業

(中央図書館)

決算事項別明細書 291 ページ

予算現額	159,667,000 円		決算額	156,114,819 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	3,552,181 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	150,039,283 円		地方債	
	増減額	6,075,536 円		その他	30,452,356 円
	増減率	4.05%	一般財源	125,662,463 円	

### <目的>

図書やその他必要な資料を収集・整理・保存し、広く市民の利用に供することにより、読書活動の推進や、市民の学習や調査活動を支援します。

### <内容>

図書、雑誌や新聞等の資料の選定・購入、図書館サービスを提供するのに必要となる会計年度任用職員の雇用や図書館システムの借上げを行います。

### <実績・成果等>

#### 1 図書利用の推進

(1) 図書購入費	27,739,051 円	図書購入冊数	13,714 冊
うち 中央図書館	21,436,740 円	うち 中央図書館	9,847 冊
うち 狭山台図書館	6,302,311 円	うち 狭山台図書館	3,867 冊
視聴覚資料購入費	473,286 円	(DVD 32 点、CD 4 点)	

(2) 登録者数 153,551 人

(3) 利用実績

区分	中央図書館	狭山台図書館	移動図書館	合計	(内団体)
利用者数	182,538 人	44,818 人	6,042 人	233,398 人	(862) 団体
貸出数	548,049 点	156,628 点	17,690 点	722,367 点	(14,794) 点

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年8月21日(土)～9月30日(木)の間、臨時休館(臨時窓口開設)とした。

(4) 資料区分ごとの貸出数

区分	一般書	児童書	雑誌	ビデオ	DVD	C D	カセット	DAISY※
貸出数	404,640 冊	268,953 冊	31,451 冊	54 点	7,584 点	9,072 点	613 点	0 点

※DAISYは、印刷物を読むのが困難な人々のために製作されたデジタル録音図書

(5) 一般奉仕

講座 3回 49人

(長寿安心課と共催で、認知症に関する講座を実施。関連図書を展示)

(6) 児童奉仕

おはなし会等 44回 (ボランティアグループとの連携実施を含む)

読み聞かせ講座 1回

保健センター事業での講座 5回

(読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション、図書館案内、絵本紹介等)

新型コロナウイルス感染症対策事業



- ① お楽しみパック事業（小学生向けおすすめ本を5冊セットにして貸出） 223件貸出
- ② 学童保育室等への団体貸出（要望に応じて司書が本を選定して提供） 12回 438冊

(7) 学校連携

小学生向けの広報紙「よむぞうタイムズ」81号、82号、83号の発行  
中学生向けの広報紙「よむレンジャー」46号、47号、48号の発行  
出前事業（ブックトーク）の実施 小学校 6学級、対象172人、貸出454冊  
図書の団体貸出 71回、1,819冊  
図書館訪問等の受入 小学校 11校 692人  
館内案内DVDの貸出 小学校 13校 15回

2 その他

- (1) 市民文芸「さやま」26号 300部刊行（応募者数 84人、応募作品数 340点）
- (2) 視聴覚教材・教具貸出 6点（うち16ミリフィルム4点）、視聴者 60人
- (3) その他の奉仕活動
  - レファレンス 7,429件 資料コピー 8,204枚
  - リクエスト 87,658件
- (4) インターネット上に無料で公開されている電子書籍のリンク集を図書館HPで情報提供

# 10款 5項 6目 博物館費

## 博物館管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 291 ページ

予算現額	78,529,000 円		決算額	76,647,200 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,881,800 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			78,183,200 円	地 方 債	
	増減額			△1,536,000 円	そ の 他	
	増減率	△1.96%	一 般 財 源	76,647,200 円		

### <目的>

施設の維持管理及び資料の保管を行います。また、当市の歴史・文化・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座を開催し、郷土狭山に関する学習活動の醸成を図ります。

### <内容>

常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、企画展とともに講座や体験学習を開催します。

企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を深めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催します。

### <実績・成果等>

指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日から指定管理者が管理運営を行っています。利用状況と事業の実施状況は次のとおりです。なお、令和3年9月1日から9月30日まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、臨時休館しました。

#### 1 入館の状況 (9月入館者の11人は、秋期企画展内覧会参加者を計上したもの)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
開館日数	26 <sup>日</sup>	23	26	27	27	0	27	25	23	24	24	28	280
入館者数	1,468 <sup>人</sup>	963	2,011	8,357	9,389	11	1,886	1,697	807	1,123	1,215	1,671	30,598

#### 2 企画展

事 業 名	開 催 期 間	日 数	観覧者数
収蔵品展入間川商店街	4 月 1 日～ 5 月 9 日	(本年度分) 35 <sup>日</sup>	2,235 <sup>人</sup>
恐竜展	6 月 26 日～ 8 月 31 日	58	19,325
金山明博遊画展	10 月 1 日～12 月 5 日	57	3,870
収蔵品展狭山茶と狭山の食文化	1 月 5 日～ 2 月 20 日	42	2,017
童絵作家・池原昭治展	3 月 19 日～ 3 月 31 日	(本年度分) 12	1,207

#### 3 各種講座等

事 業 名	参加者数
企画展関連事業 春のまいまい体験講座ほか13事業	3,546 <sup>人</sup>
古文書読解講座中級編ほか19事業	2,775
文化財・企画展紹介動画 恐竜が狭山に来るまでほか7本	(再生回数) 7,294回

# 10款 6項 2目 学校保健費

## 公立学校保健事業

(学務課)

決算事項別明細書 293 ページ

予算現額	61,270,000 円		決算額	59,716,946 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不用額	1,553,054 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			58,891,893 円	地方債	
	増減額			825,053 円	その他	3,971,195 円
	増減率	1.40%	一般財源	55,745,751 円		

### <目的>

健康診断等を通じて、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員の心身の健康を保持します。

### <内容>

学校保健安全法に基づき、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員を対象に健（検）診や学校環境衛生検査等を実施します。

また、園児・児童・生徒を対象として、学校管理下の災害に対し、災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金)を行うため、災害共済給付制度に加入します。

### <実績・成果等>

#### 1 健康診断

学校医等の協力により、園児・児童・生徒の健康診断と学校環境衛生検査を実施しました。

区分	校(園)数	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
幼稚園	2 園	2 人	— 人	— 人	2 人	2 人
小学校	15 校	17	15	15	23	15
中学校	8 校	10	8	8	10	8

(1) 令和3年10月に、小学校に入学する就学児童997人を対象に健康診断を実施しました。  
受診児数986人(受診率98.9パーセント) 未受診児15人(主な理由は転居や転居予定に伴う  
他市受診、特別支援学校への進級、海外滞在中、私立小学校入学。居所不明児はなし)

(2) 園児・児童・生徒を対象に尿検査を実施しました。  
尿検査1次検査9,779人 2次検査330人 要精密検査(蛋白30人・糖2人・潜血24人)

(3) 児童・生徒の結核健康診断を全員に実施しました。  
受診者数9,804人 結核対策委員会要検討者なし 直接撮影者2人 要精密検査者数0人

(4) 小学校1年生、中学校1年生及び前年度未受診者を対象に、心電図検査を実施しました。  
受診者数2,184人 要精密検査者数40人

(5) 教職員健康診断を実施しました。  
集団健診受診者数 212人(要精密検査者数53人)  
個別健診受診者数 56人(要精密検査者数10人)  
結核健康診断受診者数 268人(胃検診受診者数18人)

#### 2 災害共済給付制度

園児・児童・生徒の学校管理下の災害に備え、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ加入しました。※保護者負担金の調定額及び収入済額3,971,195円 ※金額は準要保護・要保護の控除後

区 分	加入者数	単価	共済掛金
一般児童生徒	8,502 人	935 円	7,949,370 円
要保護児童生徒	8	55	360
準要保護児童生徒	1,289	935	1,161,285
園児	73	285	20,805
前年度途中加入者(未加入者のみ)	6	935	5,610
合 計	9,878		9,137,430

※長欠の児童生徒  
(本年度は5人)  
は学校管理下での  
災害はないと見な  
し、保護者から負  
担金は、徴収して  
いない。

# 10款 6項 3目 スポーツ振興費

## 市民スポーツ促進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 293 ページ

予算現額	7,022,000 円		決算額	4,819,596 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,202,404 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,206,477 円	地 方 債	
	増減額			2,613,119 円	そ の 他	167,288 円
	増減率		118.43%	一 般 財 源	4,652,308 円	

### <目的>

スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。

### <内容>

市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウオーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。

### <実績・成果等>

- 1 スポーツ教室等の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止となった）  
 スポーツ教室は、18 種目 21 教室を企画、11 種目 14 教室を実施し、延べ 725 人の参加があり、スポーツ関連行事は、6 事業を企画、5 事業を実施し、延べ 358 人の参加がありました。  
 また、スポーツ協会との共催事業のクロスカントリー in Sayama2021 は中止となりました。

#### (1) スポーツ教室

教 室 名	期 間	会 場	参加者数	延べ人数
ゴルフ（初心者）	5月～6月（8日間）	堀兼ゴルフセンター	10人	74人
硬式テニス（初級から中級）	5月～6月（5日間）	智光山公園	16	76
ラクロス体験	5月～8月（4日間）	堀兼・上赤坂公園	23	87
	10月～12月（4日間）		18	60
バドミントン（初心者）	6月～7月（4日間）	市民総合体育館	11	42
	10月～11月（4日間）		20	73
剣道（初心者）	7月（5日間）	中央中学校武道場	22	99
体幹を鍛えて健康増進	10月（2日間）	東京家政大学	19	26
ヨガ教室	11月（4日間）	狭山台体育館	7	26
硬式テニス（初心者）	11月～12月（5日間）	智光山公園	12	57
ランニングクリニック	12月（1日間）	狭山稲荷山公園	53	53
アクティブチャイルドプログラム	2月（1日間2回）	中央公民館	19	19
ボクシング（初心者）	3月（4日間）	中央公民館	5	19
親子ボウリング	3月（1日間）	新狭山グラウンドボウル	14	14

※中止した教室：体力テスト向上・かけっこ（親子）・弓道（初心者）・子どもスポーツ体験・卓球（初心者）・Withマスクで楽しめる軽スポーツ・タグラグビー体験

(2) スポーツ関連行事

事業	期 日	会 場 等	参加者数
壮年ソフトボール大会	5月9日	上奥富コンビネーショングラウンド	117 <sup>人</sup> (9チーム)
体力テスト会	10月9日	市民総合体育館	52
ドッジビー大会	11月7日	市民総合体育館	71 (6チーム)
さやまCIYTゴルフ大会	11月29日	東京ゴルフ倶楽部	100 (25組)
健康ウォーキング	3月9日	市民交流センター 入間川地区周辺	18

※中止した行事：スポーツ障害予防講習会

2 スポーツ推進委員の活動の促進

市主催等のスポーツ・レクリエーション事業への協力を得るとともに、スポーツ推進委員連絡協議会では、ニュースポーツの普及や地域スポーツの振興に取り組み、スポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

スポーツ・レクリエーション事業への協力 4回 延べ42人

会議等 5回 延べ117人

各地区、他団体等からの要請事業 3回 12人

埼玉県・入間地区による会議・実技研修等 8回 19人

3 社会体育関係団体の支援

狭山市スポーツ推進委員連絡協議会 90,000円

狭山市レクリエーション協会 520,000円

4 市民体育祭の支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内全地区の市民体育祭は開催されませんでした。

# 10款 6項 3目 スポーツ振興費

## 競技スポーツ振興事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 295 ページ

予算現額	5,089,000 円		決算額	4,412,650 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不用額	676,350 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	4,871,852 円	一般財源	地方債	
	増減額	△459,202 円		その他	
	増減率	△9.43%			4,412,650 円

### <目的>

競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。

### <内容>

スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。

### <実績・成果等>

- 1 関係団体の支援
 

狭山市スポーツ協会	3,310,000 円
狭山市スポーツ少年団	684,000 円
  
- 2 東京 2020 オリンピック・東京 2020 パラリンピック出場選手のパネル作成
  - ・高宮なつみ選手 (東京 2020 オリンピック女子近代五種競技出場)
  - ・伊藤達彦選手 (東京 2020 オリンピック陸上競技男子 10000 メートル出場)
  - ・青木涼真選手 (東京 2020 オリンピック陸上競技男子 3000 メートル障害出場)
  - ・土田和歌子選手 (東京パラリンピックトライアスロン女子・車いす女子マラソン出場)
  - ・佐野優人選手 (東京パラリンピック男子ゴールボール出場)
  
- 3 市内企業スポーツチームの支援
 

Honda 硬式野球部 都市対抗野球大会出場 (大会期間：11月28日から12月9日)

狭山市駅東西自由通路・市庁舎 横断幕設置  
新狭山駅北口・南口ロータリー 看板設置
  
- 4 スポーツ団体との連携協定事業
  - (1) 埼玉西武ライオンズ
    - ・「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」市内幼稚園 3 園  
6月16日、30日、12月10日実施
    - ・「ベースボールチャレンジ」市内小学校 1 校  
10月29日実施
  
  - (2) ちふれ AS エルフェン埼玉
    - ・ちふれ AS エルフェン埼玉夏休みサッカー教室開催  
【1期】日時：令和3年8月13・14日 (火・水)  
【2期】日時：令和3年8月17・18日 (火・水)  
場所：堀兼・上赤坂公園
    - ・ちふれ AS エルフェン埼玉春休みサッカー教室開催  
日時：令和4年3月29・30日 (火・水)  
場所：堀兼・上赤坂公園

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 市民総合体育館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 295 ページ

予算現額	62,676,000 円		決算額	62,640,550 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	35,450 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			61,871,650 円	地 方 債	
	増減額			768,900 円	そ の 他	
	増減率	1.24%	一 般 財 源	62,640,550 円		

### <目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

### <内容>

市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供するとともに、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

### <実績・成果等>

キッズ体操やヨガ等の教室を 26 教室開催し、延べ 6,818 人の参加がありました。

#### 利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
334 日	27,103 件	150,352 人	81.15 件	450.16 人

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 地域スポーツ施設管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 295 ページ

予算現額	48,987,000 円		決算額	47,502,172 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,484,828 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			42,711,534 円	地 方 債	
	増減額			4,790,638 円	そ の 他	
	増減率	11.22%	一 般 財 源	47,502,172 円		

### <目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

### <内容>

市民のスポーツ活動等の場として、地域スポーツ施設を市民の利用に供するとともに、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

### <実績・成果等>

親子体操やヨガ等の教室を7教室及びラウンドフィットネス（通年）を開催し、延べ3,439人の参加がありました。

#### 利用状況

狭山台体育館	開館日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	333 日	4,697 件	38,452 人	14.11 件	115.47 人

※狭山台プールについては、休止としました。



# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 学校体育施設開放等事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	1,355,000円		決算額	1,273,569円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	81,431円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比 較	決算額			1,921,948円	地方債	
	増減額			△648,379円	その他	
	増減率		△33.74%	一般財源	1,273,569円	

### <目的>

小・中学校の体育館等の開放を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

### <内容>

小・中学校の体育館等について、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に開放します。また、入曾運動広場の管理は委託により実施します。

### <実績・成果等> 利用状況

学 校 名	利 用 日 数	利用登録団体数	延べ利用者数
入間川東小学校	127日	8団体	2,161人
富士見	236	15	8,075
南	212	17	10,146
山王	40	3	1,103
入間野	224	13	5,912
御狩場	163	9	4,133
堀兼	101	7	2,006
狭山台	216	14	6,669
新狭山	146	11	4,356
奥富	141	9	4,776
柏原	167	8	2,988
広瀬	182	11	3,434
笹井	95	7	3,078
水富	68	3	1,125
中央中学校	151	7	2,241
入間川	115	4	1,328
山王	175	6	2,497
入間野	216	8	4,892
堀兼	164	5	1,917
西	209	14	5,241
柏原	148	6	1,677
狭山台	103	5	1,449
合 計	3,399	190	81,204

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月24日から9月30日まで利用停止としました。

入曾運動広場	利用日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
320日	1,005件	37,612人	3.14件	117.54人	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月24日から9月30日まで利用中止としました。

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## スポーツ施設整備推進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	541,610,000 円		決算額	467,191,299 円		
翌年度繰越額	73,151,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	129,325,000 円	
不 用 額	1,267,701 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			141,089,808 円	地 方 債	265,400,000 円
	増減額			326,101,491 円	そ の 他	71,800,000 円
	増減率	231.13%	一 般 財 源	666,299 円		

### <目的>

市民ニーズに合わせた施設整備の推進を図ります。

### <内容>

武道館の整備に関する基本方針に基づき、新たな武道館を整備します。

### <実績・成果等>

#### 武道館整備事業

- 1 建築工事・機械設備工事・電気設備工事等について、前年度に引き続き実施し、本年度は建物本体及び外構等が完成となりました。なお、令和4年3月18日に建物の引き渡しを行い、令和4年5月17日に供用を開始しました。

武道館整備工事費 290,023,008 円

武道館整備工事費（明許） 144,453,000 円

- 2 武道館の道場に設置する全日本柔道連盟公認の柔道畳 175 畳、事務機器、椅子等を購入しました。

事業用消耗品 9,794,256 円

施設用備品購入費 4,165,590 円

- 3 武道館整備工事の請負者に対し適切な工事が遂行されるよう設計意図を伝え、必要な指導を行うとともに工事現場の適正な管理等をするため工事監理業務を実施しました。

武道館整備工事監理委託料 9,295,000 円

- 4 武道館整備工事及び周辺道路整備工事に伴い、対象箇所において既存の水道管が支障となったため、配給水管移設等をする工事を実施しました。

水道事業負担金 8,124,700 円

# 10款 6項 5目 学校給食センター費

## 給食センター管理事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	233,474,000 円		決算額	231,259,544 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,214,456 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			244,271,417 円	地 方 債	
	増減額			△13,011,873 円	そ の 他	
	増減率	△5.33%	一 般 財 源	231,259,544 円		

### <目的>

児童生徒に安全でおいしい給食を提供します。

### <内容>

PFI 方式で更新した入間川学校給食センター、堀兼学校給食センター及び柏原学校給食センターの施設を割賦により取得します。

### <実績・成果等>

学校給食の施設管理として、各センター施設内外の定期的清掃・消毒はもとより、薬剤師による衛生検査、給食業務に携わる全従業員の定期的な保菌検査を実施しました。

また、入間川、柏原学校給食センターについては、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(142,641,612 円)

堀兼学校給食センターについても、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(75,805,044 円)

# 10款 6項 5目 学校給食センター費

## 学校給食事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 299 ページ

予算現額	540,004,000 円		決算額	527,025,075 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	12,978,925 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比 較	決算額			527,392,502 円	地方債	
	増減額			△367,427 円	その他	
	増減率		△0.07%	一般財源	527,025,075 円	

### <目的>

児童生徒に安全かつ安心な給食を提供します。

### <内容>

学校給食衛生管理基準に基づき給食を調理し、安全でおいしい給食を児童生徒に提供します。アレルギーについては、適切に対応した給食を調理し提供します。また、栄養士等による食育の充実に取り組みます。

### <実績・成果等>

安全安心な学校給食を提供するため、下記のとおり実施しました。

#### 1 給食実施状況

- (1) 給食の実施回数 小・中学校 185 回
- (2) 給食の提供人員 小学校 15 校 6,906 人、中学校 8 校 3,633 人
- (3) アレルギー対応食提供人員 小学校 62 人、中学校 11 人

#### 2 栄養指導の実施状況

小学校 10 校 63 時間  
 中学校 3 校 43 時間  
 教員（学校保健委員会）3 回